

修学旅行新聞

発行元

品川煌貴

社会と修学旅行

小樽の人口減少

小樽運河へ、行くバスの途中で僕は、あまり人を見ないなと思いました。調べてみると小樽市は、人口が減少しているということがわかったのでそれについて詳しく調べました。小樽市の人口減少の、主



小樽市の様子

な原因は出生数の減少による「自然減」と生産年齢人口の流出による「社会減」です。国立社会保障や、人口問題研究所などによる考えによれば、2050年には人口が現在の半分になると予想されています。これを防ぐためには、次のことが必要です。結婚につながる機会を作ること。多くの地方自治体で、少子化対策として婚活支援をおこなうこと。貧困問題を解決し住みやすい環境を作ること。人口流出を防ぐ対策をすること。移住しやすい環境を作ること。この5つの課題を小樽市は、今現在も努力して解消しようと励んでいます。

アイヌの差別

ウポポイでアイヌ人は、素敵な踊りを見せてくれました。こんなにも魅力的な文化を持っているのになぜ差別されているのだろうと思いました。調べてみると、アイヌ人と和人は、1457年から1789年にかけて多くの紛争が起り、1789年のクナシリ・メナシの戦いの後、和人がアイヌを制圧しました。そしてアイヌの人々は、独自の文化や生活を禁止されたことで、生活の基盤や独自の文化を失い、日常生活

において様々な偏見による差別を受けてきました。この問題を解決するため、平成9年の「アイヌ文化振興法」をはじめ、国による様々な取り組みが進められました。このようにいまでも政府では、アイヌの偏見をなくすために、努力しています。私たちも アイヌ文化を学び アイヌ文化を元通りに復活させましょう。



アイヌの踊り